

伝統と文化

新年早々に発生した能登半島地震や羽田での航空機の衝突事故と、令和6年の始まりに心痛める出来事が続きました。被災された地域の皆様の早い復興を心よりお祈り申し上げますとともに、復興にご尽力されておられる皆様に心より感謝いたします。

不謹慎ながら、年始の大きな地震の際に夕刻からのテレビ番組が総て地震関連の報道にかわった後、年末に録画していた番組を見ていました。そんな時にふっと何年か前の大晦日の、『除夜の鐘』に関わる記事を思い返しました。その記事で、大晦日から元日にかけて寺院での恒例の行事と思っていた『除夜の鐘』が、最近では『除夕（じよせき）の鐘』になりつつあるということを知り、複雑な思いを覚えました。深夜の鐘の音に近隣住民からの苦言が多くあり、やむを得ずまだ陽の高い午後から夕刻にかけて鐘を点かれるようです。その結果、大晦日の台所仕事の合間に子供連れの家族が集まり鐘楼は賑わいをみせているそうですし、大晦日の夕食の準備をしながらの鐘にも風情があるとの声もあるようで、明るいうちであれば近隣からの苦言も無いそうです。賛否両論があり、これからの様々な生活と年中行事や習慣とを、どの様に考えるか融合させるかに一石を投じるものでした。かつては、母親や姉妹と共に12月中旬から黒豆を煮たり、餅をついたり新年の準備を行っていたことも思い出されました。

伝統を伝承する重要性と文化への理解の啓発に向け、学校教育が果たしていく役割は大きなものがあります。また、学校教育の課題に国際理解教育があります。グローバル社会の進展に伴い、国際的な交流や世界基準での関わり方が求められてきています。そこでは、世界に目を向けることとともに、自国の文化や社会に目を向けることも重要とされています。国際理解教育推進のための教育活動に、伝統文化の学習と継承もあります。また、食育の重要性も求められ、我が国の食文化への啓発や食事をしっかりと摂る習慣づけ、子どもたちの安定した生活習慣を形成していくために、家庭や地域とともに考えていくことが求められています。しかし、箸の持ち方や生活様式をはじめ躰を学校教育に託す要望があるとの報道がありますが、家庭としての役割、地域としてのかかわり方、学校としての教育とそれぞれの果たす役割があるのではないのでしょうか。そして、いかにしてそれぞれの役割を融合させていくかを子どもたちに意識させ考えさせることに学校の役割があるといえます。

冒頭の能登半島地震により、輪島の朝市の各商店や地域が焼失した報道に胸が痛みました。その地で長く生活され、北陸の名所である輪島朝市の生活と文化を失ったことには計り知れないものがあります。我々の生活が永く繋いできた伝統や文化を一瞬にして失ってしまう自然災害の惨さは、東日本大震災でも経験しました。コロナ禍後には、日常の生活習慣や風習などが各地で一変したことも大きな課題となっています。世界遺産は、被災後に保存状態や継承されている実態が調査・検証され、遺産価値にそぐわなくなれば認定が解除されるそうです。将来にわたり、誇るべき文化が継承されていけることと共に、新たな時代に即した文化の継承のあり方を考えていくことも、我々に課せられたことだと考え、おせち料理を食べながら、少し複雑な思いに駆られ新年を迎えました。

新年を迎え、新たな気持ちで生徒共々にこの一年を確かな歩みとしたいと願っています。大きな事故無く、生徒一人ひとりが自らの夢の実現に向かう令和6年としていきたいと考えております。

1月9日(火) 2学年書き初め



1月10日(水) 1学年書き初め



新年、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願いいたします。

本校では、1月9日(火)の⑤⑥校時に2年生、10日(水)の①②校時に1年生の書き初めを行いました。体育館内には、正月の雰囲気広がるBGMが流れ、学年全員が一斉に臨書する様子は、年の初めに相応しく感じました。

2年生も1年生も、途中で休憩を取ったものの、約100分間もの間、集中して筆を染めており、そんな生徒たちの泰然とした姿に大変感動しました。

「新年」といえば「書き初め」ですが、今年の干支は「辰」です。荻中では毎月、その月の特徴を捉えた玄関アートを、学校支援委員会「おぎすけ」が作成しています。今月のアートは、鏡餅と干支。さらには縁起物があしらわれた掛け軸が飾っており、日本の伝統文化を感じます。

1月10日(水)、パンづくり部の活動では、「辰」にちなんで「タツノオトシゴパン」を作りました。



本校の「パンづくり部」は、都内でも非常に珍しい部活動で、特色ある活動の一つでもあります。部員の中には、バスケット部等と兼部している生徒もいます。毎週水曜日の活動には、ボランティアで講師の先生にパンづくりの指導をしていただき、オリジナリティのあるパンをつくっています。12月に開催された「荻中フェスタ」では、参加児童・生徒のために早朝から約400個ものパンをつくりました。生徒は、真剣な表情で、楽しみながらパンをつくっています。

こんな型のパンもつくれます



1月15日(月), 23日(火) 児童館連携部活体験



1月15日(月)、サッカー部とバレー部で、23日(火)に男女バスケット部で、普段児童館や学童を利用している小学生が部活動を体験しました。児童館からお願いされた企画でしたが、中学生は児童のために体験プログラムを考え、優しく指導していました。小学生も、楽しそうに部活動を体験していました。2月6日(火)には、美術部の体験も行います。



1月17日(水)~19日(金) 小中連携あいさつ運動

1月17日(水)~19日(金)、井荻小学校の児童会役員会と本校生徒会役員会が連携し、井荻小学校の校門であいさつ運動を行いました。

あいさつ運動には、有志生徒・児童も参加し、登校する児童に元気よくあいさつを行っていました。朝ということもあり、非常に寒い中でしたが、登校する児童からは笑顔が見られました。



1月18日(木) デジタル教科書視察授業 兼 教育DX公開授業

本校では、「杉並区教育委員会 教育課題研究指定校」として、令和4・5年度、教育DXの研究を行って参りました。その取組例は、以下の通りです。

- ・校務支援システムを活用してペーパーレス化を図る。
- ・アンケート類をデジタル処理する。
- ・360°カメラを利用して学校紹介動画を生徒が編集する。
- ・デジタル教科書をほぼ全教科導入する。
- ・テスト等をデジタルAIで採点する。
- ・ICTを活用した授業を展開する。等

これらの中でも、特に授業について、区内の小中学校教員を対象に公開授業を行っています。1月18日(木)は、都のデジタル教科書視察と併せて、国語と英語の公開授業を行いました。

国語	英語
  <p>タブレットで生徒の考えを共有</p>	  <p>デジタル教科書で発音を聴く</p>
  <p>デジタル教科書に線を引く</p>	  <p>AIソフトでスピーキングの採点</p>
 <p>話し合い活動</p> <p>ICTを活用することで、生徒同士の考えを共有したり、話し合いをしたりし、学びを深めました。</p>	 <p>AIソフトで英会話の練習</p> <p>デジタル教科書で聴いた文章を、AIソフトに発音することで採点され、個別最適な学習ができます。</p>

お知らせ

【荻窪中学校への表彰】

- ・1人1台専用情報端末を利用した、教育DXの推進(杉並区教育委員会より)

【荻窪中学校への感謝状】

- ・人権作文コンテスト東京大会への協力(東京法務局・東京都人権擁護委員連合会より)

【女子バスケットボール部】

- ・東京都大会ベスト32

今後の予定

令和6年1月31日(水)~2月2日(金)	2学年スキー移動教室
2月10日(土)	新入生保護者説明会
2月21日(水)	都立1次入試
2月22日(木),26日(月),27日(火)	定期考査IV